
たけし、やりすぎ。

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

たけし、やりすぎ。

【Nコード】

N5194Y

【作者名】

ごほんライス

【あらすじ】

筒井康隆「天狗の落とし文」風の短いもの。二編からなっています。

たけしはふらふら歩いていました。もう夜中の一時です。パジャマ姿です。いわゆる不眠症というやつで、おそらく学校でいろいろなストレスがあり、そうなってしまふのでしょうか。

月はたけしを見ながら若干苦笑い。枕を抱えているので間抜けたやつचनाあなんて思っています。

しかし、意外にもたけしは上機嫌。これが冬なら寒くてどうにもならぬのですが、春だったのでなかなかいい気温だったので気持ちがいい。

気持ちがいいからでしょうか。たけしは少し悪いことを考えてしまいました。今からルーチカの家へ行き、ルーチカの部屋の窓をぶち割り中に侵入し、ルーチカのおっぱいをもんでやれと思ってしまったのです。ルーチカというのはたけしの同級生で、すごくかわいい女の子です。

途中見回りのおまわりさんに会いました。

「君。こんな夜遅くにどこに行くんだい」

「はい。ルーチカの家に行くんです」

「何しに行く」

「おっぱいをもみに行くんです」

「何。そいつは素晴らしい。オレも行こう」

月が舌打ちしました。

たけしとおまわりさんはルーチカの家まで来ました。

「ルーチカの部屋は二階です」

「どうやって侵入するのだ」

たけしは長い棒を持ってきました。そして走りました。ぴよんと飛んで、がしゃああああああん。

家の電気がぱぱっとつきました。おまわりさんは逃げました。

一週間後、学校でテストがありました。たけしはなかなか解けません。

だから、テストの途中、うわああああああと叫び、机をひっくり返してしまいました。みんながびっくりしてます。

「たけしくん。保健室へ行く？」

「大丈夫です。ぼく、がんばります」

しかし、やはり上手く解けません。

またうわああああああああと叫び、今度は金属バットでガラス窓を次々とぶち割っていきました。みんな、いやがってます。

「たけしくん。保健室へ行くよ」

「やります。ぼく、がんばります」

「だめです。行きます」

先生はいやがるたけしの腹を殴って気絶させ、肩に背負い、保健室へ連れていきました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5194y/>

たけし、やりすぎ。

2011年11月17日21時39分発行